事業名	みずで あそぼう！まもろう！～ウォーターセーフティ教室～
申請団体	特定非営利活動法人 TEAM AVANTE
協働団体	石川県トライアスロン協会
申請区分	広域交流事業

【活動内容】（日付、場所、具体的な活動内容等）

・実施日：令和 7 年 12 月 20 日（土）ジュニア・親子の部／12 月 21 日（日）成人の部
・会場：富山市民プール
・内容：ウォーターセーフティ講座、ライフジャケットの正しい着用・体験、実技（泳法・安全行動）
・広報：チラシ作成・設置、富山県・石川県の関係団体への周知、Meta 広告（Facebook/Instagram）配信（10 月～11 月）

【活動の成果や感想】

・延べ 24 名（富山県 11 名、石川県 13 名）が参加し、家庭単位で水辺の安全意識を高める機会となりました。
　※内訳（延べ）：12/20　ジュニア参加者（子ども）5 名＋保護者 1 名＋スタッフ 4 名／12/21 成人参加者 9 名＋ジュニア参加者 1 名＋スタッフ 4 名
・県外（石川県）参加者との交流を通じて、北陸エリアでの連携強化と関係人口の創出につながりました。
・参加者からは「子どもと一緒に学べて良かった」「ライフジャケットの重要性が理解できた」などの声が寄せられました。
・JLA インストラクターを招聘し「Lifesaving Supporter（サポーターズ）」講習会として実施。修了者へ修了証・クリアファイル・冊子を進呈し、富山県・石川県トライアスロン協会スタッフも受講しました。
・今後は継続開催と、令和 8 年度のジュニアライフセービングクラブ設立を目標に活動を拡充していきます。

事業名	滑川トライアスロン 2025
申請団体	一般社団法人いきいきスポーツとやま
協働団体	公益社団法人日本トライアスロン連合
申請区分	広域交流事業

【活動内容】（日付、場所、具体的な活動内容等）

2025 年７月１３日（日）富山県滑川市滑川漁港周辺

海で 1.5 キロ水泳、特設コースで 38.8 キロ自転車、9.8 キロのランでトライアスロンを開催した。この大会は４回目であるが、本年からは距離も長くなり、オリンピックディスタンスとして、日本トライアスロン連合と連携し全国的に正式なチャンピオンを決めるチャンピオンシップ大会に加盟した。

選手参加（県内３７人、県外７９人）、ボランティア 200 人、審判 20 人（県外 10 人、県内１０人）計測、動画撮影、応援者など約 550 人がこの大会に当日関わった。

【活動の成果や感想】

今年は公益社団法人日本トライアスロン連合と連携し、正式な全国的なチャンピオンシップの大会にしたことで、昨年よりも県外からの参加者の割合が増え、年代別で１位を狙うレベルの高い選手が集まった。大会のグレードが上がると、観客や他の選手も影響を受けて、大会も盛り上がった。また参加者には自然を使って楽しむトライアスロンや滑川の海や景色の美しさを認識してもらえた、と実感している。

また、地元から写真展開催や会場無料貸与、物品の無料貸与など昨年よりも協力を得ることができた。昨年に比べるとより良い大会になったことが実感できた。

この大会も４回目、富山県内のボランティアや観戦者も増えたことで、関係人口の拡大が得られ、他県の選手と多くの県内のボランティアが触れ合うことで、幸福感、ウェルビーイングの向上につながった。

これが全国的な評判になってさらに来年はもっと参加者を増やし、県内の方にもトライアスロンを広めて盛り上げていきたい。

事業名	輪島市門前町の住民との交流
申請団体	特定非営利活動法人大空へ飛べ
協働団体	輪島市門前町道下第一・第三団地自治会
申請区分	広域交流事業

【活動内容】（日付、場所、具体的な活動内容等）

2025 年 11 月 8 日(土)　輪島市門前町道下（とうげ）第一団地集会場前
「大空へ飛べ　ミニコンサート」
・観客のみなさんといっしょに歌を歌ったり、手遊びをしたりした。
・「大空へ飛べ」の歌やダンスを見てもらう。
・支援物資(米 1kg、りんご、レトルト食品)を観客一人に一セット配布。

【活動の成果や感想】

・子どもたちが歌い、踊る様子を見て、涙を流して喜ばれる方がたくさんおられた。
・「大空へ飛べ」が、支援を続けて交流してきた石垣就子さんが、宮城から駆けつけられた。会場設営や整理券の配布を積極的に行われた。宮城から菓子を持参され、住民に配布された。
・和光大学の制野先生(宮城出身)は、ゼミ生とともに支援活動を続けておられる。仮設住宅では、学生と指導されている金沢のぞみ保育園の保育士とともに「御神楽」の舞を住民の前で披露された。小・中学校へは 8 万円を寄付された。
・仮設住宅の住民、小中学校の校長からは、今後もぜひ交流を続けて欲しいと言われた。

事業名	ウォーターセーフティ講習会
申請団体	滑川ライフセービングクラブ
協働団体	富山県トライアスロン協会
申請区分	県民協働事業

【活動内容】（日付、場所、具体的な活動内容等）

2025 年 11 月 30 日（日）、八尾 B &G 海洋センタープール、10 時から 13 時まで。受講生 19 人。（県内 17 人、県外 2 人）日本ライフセービング協会から講師を呼び、ウォーターセーフティ講習会開催。

海、河川、用水路、プール、風呂場などの水辺の事故が起きた時にどうやって対処するか、水の中での移動や、水の性質、ライフジャケットの着方、水の中での浮き方、泳がないで陸から安全に溺れた人を助ける方法を学び、試験を受け、認定をもらった。富山県トライアスロン協会と滑川ライフセービングクラブとの協働事業。

【活動の成果や感想】

富山県内でトライアスロンやマラソンや水泳を日常からやっている受講生が多く、普段泳いだり、スポーツをやっている人にも水辺の事故が起こること、注意や対策が必要であることを広く知らせることができた。

事業名	外国人住民・自閉スペクトラム症・医療的ケア児がいる場合の 災害時対応ワークショップ
申請団体	NGO ダイバーシティとやま
協働団体	富山県自閉症協会
申請区分	県民協働事業

【活動内容】

災害時に外国人住民や自閉スペクトラム症の当事者、医療的ケア児やその家族が、地域で安心して避難・生活できることを目的に、研修やワークショップを 3 回実施しました。

外国人キーパーソンや自閉症・発達障害、医療的ケア児の支援関係者が参加し、多様な人が安心して過ごせる「理想的な避難所」をテーマにした研修とワークショップを行いました。医療的ケア児が災害時に困ることについての避難所事例を学んだ後、ジオラマを使って避難所づくりを行い、必要な配慮や工夫について意見交換をしました。

外国人留学生を対象に、避難所設置訓練と多文化災害訓練カードを用いたワークショップを実施しました。段ボールベッドや簡易トイレの組立て、非常食の炊き出しなどを体験しながら、災害時の行動や事前の備えについて学びました。多文化災害訓練カードはカードゲーム形式で留学生自身が「どのように安全に避難するか」「急な避難時に何を準備すべきか」「どのような行動を取るべきか」を主体的に学ぶことができ、自助の力を高めるとともに、将来的には災害時サポーターとして地域の高齢者や障害のある方を支援する行動へとつなげていくことが期待されます。

自閉スペクトラム症の当事者の青年を対象に、災害訓練カードを使ったワークショップを開催しました。災害時にどのような行動を取ると安心できるかを、当事者自身が考え、共有する時間としました。彼らならではの idea がたくさん飛び出し素敵な時間になりました。

【活動の成果や感想】

外国人住民、自閉スペクトラム症の当事者、医療的ケア児の家族、支援者、行政関係者など、多様な立場の人が一緒に災害時の備えについて考える貴重な機会となりました。体験型のワークを通して、「自分だったらどう行動するか」「どんな配慮があると安心できるか」を具体的にイメージすることができ、防災を自分ごととして考えるきっかけにつながりました。特に、多文化防災訓練カードは、言葉や特性の違いがあっても話し合いやすいツールとして有効であることが分かり、今後さらに改良を重ね、幅広い地域で活用していきたいと考えています。